



〒892-0841  
鹿兒島市照国町13-42  
カトリック鹿兒島司教区  
電話099 (226) 5100  
振込口座 02030-2-8359  
編集発行 教区広報部  
1部60円年間千共1100円



# 洗礼の恵みに気づき、それを生きよ(9)

2024年 年間目標

鹿兒島教区司教 中野裕明

教区の皆さま、お元気で  
すか。今回は日本の司教団が  
制定している「被造物を大切  
にする世界祈願日」すべての  
いのちを守るための月間」に  
ついてお話しします。

このテーマと月間を設定  
した動機は、2015年の聖  
霊降臨の祭りに発布された教  
皇フランシスコの回勅「ラウ  
ダート・シ」にあります。こ  
れは地球環境の問題を取り扱  
った初めての社会教説であり  
ます。このタイトルは、元来  
アシジのフランシスコが12  
25年ごろ創作した詩「私の  
主よ、あなたはたたらえられま  
すように！」(「太陽の  
歌」)から援用したもので  
す。この詩は、死に向かうフ  
ランシスコが、天体を含めた  
被造物を通して創造主である  
神を賛美するという内容にな  
っています。従って、日本の  
教会は、この地球環境月間を  
9月1日からアシジの聖フラ  
ンシスコの記念日の10月4日  
までとしました。

この回勅の内容と目的  
は、大雑把に言うところ創世記  
1章に描かれている情景を  
思い起こさせるものです。  
すなわち、天地万物の創造  
主である神が、地上のすべ  
てのものを創造し、それら  
を神の似姿に創造された人

間に治めるように委ねたと  
いうメッセージです。しか  
し、「創造の初めは極めて  
良かった被造物(創世記1  
章31節)であるこの地球が  
現在悲惨な状況になってい  
る」と教皇はこの地球に住  
んでいる私たちに警告して  
いるのです。そして、被造  
物にすぎない私たち人類は  
謙遜になって、この地球を  
創造主のみ旨に合う方向で  
運営していくように促して  
いるのです。

聖書を信仰の基盤とする  
キリスト教徒は、暦の中で  
聖書に書かれてある字句を  
神の言葉として大切にしま  
してきました。ところが、文  
明が発達していく中で天体や  
生物体の生態が聖書に書か  
れていることと違うのでは  
ないかとの考え方が発生し  
てきました。そのような  
人々を列挙します。

①コペルニクス(1473  
〜1543、ポーラン  
ド)。彼はそれまで、聖書  
の文言に従って理解されて  
いた天動説を覆し、理論的  
に地動説を唱えました。  
②ガリレオ(1564〜  
1642、イタリア)。彼  
は、コペルニクスの地動説  
を天体の観察を通して実証  
しました。

③ダーウイン(1809  
〜1882、イギリス)。  
生物学者の彼は、「種の起  
源」を研究し、生命体の進  
化論を著しました。その中  
で「人間という種も進化の  
過程で出現した」と唱えま  
した。  
このように文明の発達は  
科学の発達に依るものであ  
ることが分かります。そう  
すると、キリスト教会の中  
では、聖書の信憑性に疑問

## 福音こそが平和実現の礎

### 今年のキリスト教伝来記念祭

聖母被昇天祭  
の8月15日  
(木)、鹿兒島  
カテドラル・ザ  
ビエル記念聖堂  
で「キリスト教  
伝来」を記念す  
るミサがささげ  
られた。第2次  
世界大戦の終戦  
日でもあるこの  
日は1549  
年、日本にキリ  
スト教を伝える  
ために聖フラン  
シスコ・ザビエ  
ルが鹿兒島に上  
陸した日。鹿兒島教区では、  
日本を代表して8月15日にキ  
リスト教伝来を記念するミサ  
をささげ、キリストの福音こ  
そが本当の平和を築くものと



してこのミサで、聖母マリア  
の取り次ぎを願う平和を祈り  
続けている。  
17時から始められたミサ  
に参列したのは、約120人  
の信者たち。その中には30人  
余のベトナムからの若者た  
ち、フィリピンファミリーの  
メンバーなど多くの鹿兒島に  
滞在する外国人たちの姿があ  
った。  
道徳や倫理が欠如してい  
る現代にあっても、平和を築  
くことは信者の役目とする  
中野司教は、説教の中で「私  
たちの倫理基準はモーセの十  
戒にある。ただこれをキリス  
トがなさったように心を込め  
て守る必要がある」とメッセ  
ージを送った。  
今年のミサでもベトナム  
からの若者たちが聖歌を披露  
し、またミサにおける侍者を  
引き受けてくれ、ミサ後の懇  
親会でも手料理を振舞うなど  
協力を惜しまなかった。加え  
て連合壮年会の協力で、駐車  
場整備や懇親会の準備も非常  
にスムーズに行われた。

中国で北京原人の発掘  
に参加しました。彼は、ダ  
ヴィンの進化論を肯定的  
に捉え、進化の頂点は人間  
であり、さらにその進化は  
オメガであるキリスト(ヨ  
ハネの黙示録21章6節)に  
向かって進んでいき完成す  
ると説き、その原動力は  
「愛」であるという大胆な  
思想を発表しました。  
この思想は、1962  
年、ローマの儉邪省により  
正統信仰を歪める恐れがあ  
るといふクレームが付きま  
したが、その後の歴代の教  
皇は、彼の思想を好意的に  
捉えており、とりわけ教皇  
フランシスコについては、  
彼の名前こそ控えています  
が、回勅「ラウダート・  
シ」の中で彼の思想を引用  
しています(「ラウダー  
ト・シ」83番参照)。回勅  
全般にわたって科学的論考  
を怯むことなく信仰の視点  
で語っています。  
次に紹介したいのは、教  
皇ピオ12世(在位1939  
〜1958、イタリア)の

回勅「デイヴィノ・アフ  
ラント・スピリット」です。  
この回勅は、聖書の解釈を  
めぐり様々な議論が起こっ  
ていた最中、「聖書の文学類  
型」を基に解釈する方法を  
義務付けました。  
聖書は科学書ではないの  
で、様々な文書は文学、歴  
史、教訓、詩歌など、また  
作者や編集意図、書かれた  
時代背景や文化的背景など  
を考慮に入れて解釈しなけ  
ればならないとしました。  
さらに「聖書の学問的研究  
の自由」を認めました。  
この二つの決定は、第2  
ヴァチカン公会議の啓示憲  
章の中で、「(教会の)教  
導職は神のことばの上にあ  
るのではなく、これに奉仕  
するものであって伝承され  
ただけを教えるのであ  
る」(神の啓示に関する教  
義憲章10番)という文言に  
反映されています。  
長く複雑な説明になって  
しまいました。最後に私の司  
牧体験からお話しします。  
教会に通っていた男子が

回勅「デイヴィノ・アフ  
ラント・スピリット」です。  
この回勅は、聖書の解釈を  
めぐり様々な議論が起こっ  
ていた最中、「聖書の文学類  
型」を基に解釈する方法を  
義務付けました。  
聖書は科学書ではないの  
で、様々な文書は文学、歴  
史、教訓、詩歌など、また  
作者や編集意図、書かれた  
時代背景や文化的背景など  
を考慮に入れて解釈しなけ  
ればならないとしました。  
さらに「聖書の学問的研究  
の自由」を認めました。  
この二つの決定は、第2  
ヴァチカン公会議の啓示憲  
章の中で、「(教会の)教  
導職は神のことばの上にあ  
るのではなく、これに奉仕  
するものであって伝承され  
ただけを教えるのであ  
る」(神の啓示に関する教  
義憲章10番)という文言に  
反映されています。  
長く複雑な説明になって  
しまいました。最後に私の司  
牧体験からお話しします。  
教会に通っていた男子が

先ほど紹介した、テイヤ  
ール・ド・シャルダンが「類  
人猿と最初の人類の頭蓋骨の  
容量は明らかに差がある。前  
者は1000cc未満であり、  
人間は1000cc以上であ  
る」と主張し、「この差は突  
然変異としか言えない」と言  
っています。  
回勅「ラウダート・シ」  
にはたくさん科学用語や  
専門用語が使われていま  
す。「科学と宗教」、「理  
性と信仰」との関係性につ  
いて、自分なりに一貫性の  
ある信仰理解に努めたいも  
のです。

## 平和願って祈りの巡礼

いのち・地球・平和を祈る会  
カトリック平和旬間(8  
月6〜15日)の初日は、広  
島に原爆が投下された日。  
この6日(火)には全国各  
地で平和を願う祈りがささ  
げられた。鹿兒島市では、



郡山名譽司教が会長を務め  
る諸宗教の有志が中心にな  
って立ち上げた「いのち・  
地球・平和を祈る会」が平  
和の祈り巡礼を実施した。  
午後3時にザビエル教会  
に集った祈りの巡礼団一行  
は、聖堂で思い思いに祈り  
をささげた後、平和をアピ  
ールする幟を掲げて市街地  
へと繰り出した。  
カトリック教会からは郡  
山名譽司教、末吉神父(始  
良教会)、シスター澤(レ  
デンプトール宣教師道女  
会)、信徒数人の姿が見ら  
れた。一行は繁華街を經由  
して西本願寺、照国神社へ  
と行進し、街行く人に平和  
の大切さ訴え、訪問先で心  
を一つにして平和実現のた  
めに祈りをささげた。

小学4年生ごろから来なく  
なりました。理由は、学校  
のクラスで「人間は神によ  
って造られた」と発言した  
ら、担任が「人間は猿から  
進化したのよ」と言って恥  
ずかしい思いをしたそう  
です。それが教会から遠のく  
原因でした。ダーヴィンの  
進化論はあくまで仮説であ  
り、そのすべてが実証的に  
証明されているわけではあ  
りません。

# カリタス鹿児島からの支援に カノッサ教会と名古屋教区からお礼状

教区がカリタス鹿児島を通して支援金を届けたカノッサ修道女会(ウクライナ支援)と名古屋教区(能登地震)からお礼状が届いたので紹介したい。

暑中お見舞い申し上げます。鹿児島教区の中野司教様をはじめ信徒の皆様におかれましては、健やかに過ごされたことと存じます。

今回もウクライナ支援のために多額のご寄付を頂きました。本当にありがとうございます。お礼を申し上げます。

長引く戦争が一日も早く終わることを願いながら、平和の元后聖母マリア様のとりなしによって、平和が訪れるように祈るばかりです。

酷暑が続きます。どうぞ皆様、お身体を大切になさってください。祈りのうちに、感謝を込めて。

(カノッサ修道女会  
平川恵子修道女)

あなたかいて支援に心から感謝します。この度は、能登半島地震被災者のために支援金を送り下さり、本当にありがとうございました。

## 老朽化が進んだ市民の宝 祇園之洲のザビエル上陸記念碑

「祇園之洲のザビエル上陸記念碑ですが、もう少し手入れをするべきではないですか?」

このように訴えが電話で、また祇園之洲付近に住いの方がわざわざ教区本部に足を運ばれて、訴えてくることしばしばある。

確かに設置から45年以上が経過した記念碑は色褪せ、タイルが剥がれ、ザビエル像を空中につなぎとめて

復興には相当な時間がかかることと思いますが、皆さまからいただいた心からのあたたかいご支援に励ま

されている支柱も老朽化しており、「像の落下が心配だ」という意見には抗えない状態となっている。

ザビエル上陸記念碑は1978年4月23日に除幕された。ザビエルとヤジロウを中心にした信楽焼のレリーフはルイ・フランソワ・セーヌ師の作。

また神の招きに一生をささげるザビエルの姿を表現しているブロンズ像は、2020年に日本芸術会員になった吉野毅氏の作品

で、レリーフ、ブロンズ像の建立には1200万円を要した。資金調達のために当時の記念碑建設委員会ではザビエルの「美術カレンダー」を作製し全国的に販売するなどした。

計画から約3年、ようやく迎えた除幕の日には祇園之洲の上陸記念碑前に当時



亀裂が入った支柱

され、私たちも少しでも被災した方々のために、また教会や地域の復興のためにできることを、長く続けていきたいと考えています。多くのご寄付に心から感謝します。

これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。感謝のうちに。

2024年7月  
(カトリック名古屋教区  
松浦悟郎司教)



設置から46年経った記念碑

### +KABAYAN SEKSIYON+ Direktoryo ng Homiliya at Mabuting Pamumuhay

Muli noong nabubuhay pa si Papa Benedicto 16, ang "sining ng mabuting pagpapahayag o pangangaral ayon sa Leksyonaryo ay sining na kailangang pagyamanin."

Kaya bilang pag-ayon sa naisin ng ikalabindala Wang Pagtitipon ng Sinodo ng mga Obispo noong 2008, hinihiling niya sa mga kinaaukulan na gumawa ng mga gabay na makatutulong sa mga tagapangaral ng salita sa pagsasagawa ng kanilang ministeryo.

Iminungkahi niya ang Direktoryo ng Homiliya, hinamon ng Banal na Papa ang mga tagapangaral na kasabay ng kanilang pangangaral ay magkaroon ng mabuting pamumuhay.

Binanggit niya ang paalala ni San Jeronimo na ang pangangaral ay kailangan kaakibat ng mabuting pamumuhay: "Ang inyong mga kilos ay hindi dapat salungat sa inyong mga sinasabi. Kung hindi, kapag kayo ay nangangaral sa Simbahan, iisipin ng iba: 'Bakit hindi mo ginagawa ang sinasabi mo?'...Sa pari ni Kristo, dapat na magkatugma ang isip at salita"(VD 60)

Kaya dapat na ang mga nagpapahayag ng homiliya ay may sapat na karanasan sa pagnilay-nilay ng mga salita ng Panginoon at ito'y binibigyan ng importansiya dahil sa mga nangangaral nakasalalay ang pag-unlad ng pananampalatay ng mga kasapi sa Simbahan.

Katesismo Tungkol sa Liturhiya (Fr.Dino Orolfo)

では除幕の後、記念碑は建設委員会委員長から鹿児島市に寄贈され、鹿児島市長、県知事からも「市民の宝にしたい」とメッセージを受けている。

記念碑老朽化の訴えを受けていた教区本部では、今年3月下旬、鹿児島市公園緑化課に足を運び、記念碑の整備・補修をお願いしたところ、最近になって「善処したい」との返事をもらったところである。これを機会に教会としても今一度、上陸記念碑建立の意義と聖母ザビエルの働きを思い起こしたいものである。

## 盛大に荘厳に 今年のラバン聖母祭

8月11日(日)午後、  
「ベトナムの聖母・ラバン祭」が「かんまちあ」(鹿児島市浜町)であった。



200人を超える聖母行列

ご要望におこたえして  
聖ザビエル様の人形

倒しても起き上がります!!



税込500円

手作りキュートなザビエル人形を販売中。倒してもすぐに起き上がります。(高さ5センチ)

798年)から逃れるためにフエ郊外のラバンのジャングルに逃げ込んだ信者たちを励ますためにご出現された聖母を崇敬するもの。

この日、会場には1700人を超えるベトナムから来ている青年が集まったほかフィリピンファミリーや日本人の信者たちも加わるなど盛大に荘厳な集いとなった。

青年たちの交流の催し後、16時30分からあったミサを主司式したのは中野裕明司教。司教は説教で、ティエン神父の叙階から始まった鹿児島教区とベトナムのつながり、そして司教自身が巡礼したラバンについて解説した上で、「異国の生活には辛いことがたくさんある。だからこそミサにあずかってご聖体をいただき、そしてマリアさまを支えてくださることを思い出そう」とベトナムからの青年たちを励ました。

ミサ後は、ラバンの聖母像を設置した神輿を担ぎ、イベント広場内を参列者全員でロザリオの祈りを唱えながら行列、その後、聖母像前で聖母を称えるための踊りの披露などがあった。

この日のミサには、アン神父とタム神父、ティエン神父が中野司教と共同司式したほか、かつて鹿児島で働いてくれたダウン神父もベトナムから駆けつけミサを司式してくれた。

この日の集いを荘厳にしてくれたのはベトナム語で歌われる聖歌の美しい旋律はもちろんのこと、ベトナムの青年たちの落ちついた規律正しい立ち居振る舞いの素晴らしさだった。

# イグナチオの霊操 ⑮

紫原教会主任司祭 貴島 丈弥

第二週 「選定」、「二つの旗」

第二週は「選定」(霊操169-189)によって終えられます。「選定」とは、自分の生きる道を選ぶということ。結婚生活、司祭・修道者生活、または独身生活などといった重要な基本変更可能な選定や自分の生活を整えるため、より大いなる栄光のために行う変更可能な選定をすることです。

「選定」は信仰生活の重要な位置を占めることにもなるので、この短い30日間に人生の重要な決定をするわけではありません。「良い選定をするにはいつでも：私が造られた目的、すなわち、主なる神への

賛美と自分の霊魂の救いのために造られたということだけをみていなければならぬ。従って、選ぶものは何であれ、私が創造された目的の助けとなるものでなければならぬ」(霊操169a)

とイグナチオが書いているように、神に仕えるという目的のために、その手段として選定を行います。どの手段が自分に最も適しているのか、どの道に自分が呼ばれているのかを知るためにも、「乱れた愛着」を取り除いて神の意志を知り、主にどこまでも従っていく決意をするために、第二週では「二つの旗」、「三組の人」、「謙遜の三段階」という黙想が行われます。「二つの旗」(霊操136

148) というのはキリストの旗と人類の敵であり悪霊の頭であるルシファアの旗のことで、どの旗のもとに自分の身を置くかという黙想です。

もちろん霊操者はキリストの旗に向かうのですが、ルシファアもまた自分の旗のもとに留まらせようとあらゆる手段を用いて罪への誘惑を行ってきます。この黙想によって、ルシファアの欺きを知り、それから離れるための恵みを求めます。ルシファアは、富の欲、名譽の欲、高慢の欲という三段階によって他のあらゆる悪徳に誘い入れようとします。これらに対抗するためにキリストも三つの段階によって導きます。富に対する貧しさの段階、世の名譽に対する辱めやさげすみ、高慢に対する謙遜の段階によってあらゆる徳に導こう

とされています。第一週を終えた霊操者は、罪の醜さや汚れを体験して、その状態には戻らざらぬと願い、自分を奉獻していきたくらいという熱意にも満たされます。

8月8日(木)午後4時43分に日向灘を震源とするM7.1の地震で、垂水市では震度5弱を観測し、垂水教会(小教区管理者・霧島神父)では敷地を囲むコンクリートブロック塀のう



日向灘地震で被害

## 日向灘地震で被害 垂水教会のブロック塀崩壊

8月8日(木)午後4時43分に日向灘を震源とするM7.1の地震で、垂水市では震度5弱を観測し、垂水教会(小教区管理者・霧島神父)では敷地を囲むコンクリートブロック塀のう

たされています。この熱意、愛情と共にイエスの道を歩み始めます。

ち東側の塀がすべて教会側に崩れる被害があった。幸いにも怪我人はいなかった。

たされています。この熱意、愛情と共にイエスの道を歩み始めます。参考文献 ペドロ・アルペ、キリストの道 第四巻 第二週 生活の改善

## 大柵教会(小宿小教区)最後のミサ

日時: 9月16日(月) 10時  
場所: 大柵教会 (大島郡大和村大柵)  
主司式: 中野裕明司教  
※皆様、ご参列ください。

忘れがちなことなので、聖書は何千年も前に書かれた古代の文献です。そしてそれは異なる歴史や文化、また言語によって書かれたものです。旧約聖書はユダヤ人に向けてヘブライ語で書かれたものです。新約聖書はギリシア語を話すユダヤ人、及び異邦人のキリスト者に向けて書かれたものです。であれば彼等の土壌に基づいて読まなければ正しく理解できないということなのです。

なってしまうかもしれません。それでは使徒伝承の正統信仰ではなくカトリック日本派が形成されてしまう恐れも生じます。このことは遠藤周作の『沈黙』に如実に描かれています。フェレイラはロドリゴに以下のように語ります。

《康由神父の聖書教室》76  
日本人の信仰理解

デウスと大日と混同した日本人はその時から我々の神を彼等流に屈折させ変化させ、そして別のものを作りあげはじめたのだ。言葉の混乱がなくなつたあと、この屈折と変化とはひそかに続けられ、お前がさつき口に出した布教がもつとも華やかな時でさえも日

いた一人の老人(日本の霊の一人)はオルガンティノ(パードレ)に以下のように語ります。

(老人) 事によると泥烏須(デウス)自身も、この国の土人になるでしょう。支那や印度も変つたので、西洋も変らなければなりません。(116)

これらの小説は私たちに信仰の理解について大きな示唆を与えてくれていて、考えられます。使徒の時代から受け継がれてきた正統信仰を生きたためにも、これから聖書や教会の教えを正しく学ぶというのを忘れなくてはならないのです。

これを以て私の十年以上にわたるこのコラムの結びにしたいと思えます。長い間のご愛読に心から感謝申し上げます。

往々にして私たちは聖書を読むとき日本人の文化や価値観に基づいて書かれた文字から内容を理解し、解釈をしようとするものです。もしそのような点からみ聖書を読むとすれば、換骨奪胎とも言える読み方と

したものは基督教の教える神ではなかったとすれば(232)

本人たちは基督教の神ではなく、彼らが屈折させてものを信じていたのだ。(233-234)

基督教の神は日本人の心情の中で、いつか神としての実体を失っていった。(234)

また芥川龍之介の『神神の微笑』の中で首に玉を巻

・芥川龍之介『奉教人の死』新潮文庫、2013年。  
・遠藤周作『沈黙』新潮文庫、2014年。

# 会と催し 9月

- 1日(日) 年間第22主日
- 3日(火) 被造物を大切に作る世界祈願日
- 6日(金) すべてをいのちを守るための月間・10月4日
- 7日(土) 川淵勇神父命日(1997年)
- 8日(日) 年間の第23主日
- 11日(水) 牧山重光神父命日(2005年)
- 14日(土) 七田和二郎神父命日(1989年)
- 15日(日) 年間の第24主日
- 16日(月) 聖書の分かち合い・教区本部・14時
- 18日(水) 中野アカデミー・教区本部・13時30分
- 19日(木) 十字架称賛
- 21日(土) 聖書の分かち合い・教区本部・14時
- 22日(日) 年間第25主日
- 23日(月) 祖父父母と高齢者のための世界祈願日
- 24日(火) 鹿兒島教区司教座教会献堂記念日
- 25日(水) 奄美大島宣教再開記念ミサ・名瀬聖心教会・19時
- 27日(金) 出水教会堅信式・9時
- 28日(土) 第6回集会祭儀司式者養成講座(鹿兒島地区)・カテドラル主聖堂・15時
- 29日(日) 四條淳也助祭叙階記念(2008年)
- 30日(月) レジオマリエ鹿兒島・谷山教会・13時30分
- 31日(火) 大柵教会最後のミサ(中野司教司式)・10時
- 1日(水) 中野アカデミー・教区本部・13時30分
- 2日(木) 桃蘭淳一郎助祭叙階記念(2005年)
- 3日(金) 聖マタイ使徒福音記者
- 4日(土) 年間第25主日
- 5日(日) 朴昶奎神父叙階記念(2016年)
- 6日(月) 李秉徳神父叙階記念(2017年)
- 7日(火) 霧島彬神父霊名(ボグスワフ)
- 8日(水) ダニエリ神父命日(2003年)
- 9日(木) パルビニ神父命日(2004年)
- 10日(金) 子どもと女性の人権相談室・教区本部・14時
- 11日(土) 中野アカデミー・教区本部・13時30分
- 12日(日) メニヒ神父叙階記念(1959年)
- 13日(月) 松永正男神父霊名(聖ビンセンチオ)
- 14日(火) 聖書の分かち合い・教区本部・14時
- 15日(水) 年間第26主日
- 16日(木) 世界難民移住移動者の日(献金)
- 17日(金) 竹山昭神父命日(2019年)
- 18日(土) テイエシ神父霊名(聖ガブリエル)
- 19日(日) 【司教日程】3日コンベンツス、4-6日常任司教委員会(東京)、11日中野アカデミー、14日社会福祉理事会、15日出水教会及び奄美宣教再開記念ミサ、16日大柵教会最後のミサ、18日中野アカデミー、25日中野アカデミー

祈りの意向  
【祈祷の使徒会】  
教皇 地球の叫び  
日本の教会 高齢者の喜び

# 幼保連盟教職員夏期研修大会を終えて

名瀬信愛幼稚園 濱 田 美 和

去る7月24日(水)、25日(木)の2日間にわたり、令和6年度鹿児島教区カトリック幼保連盟主催第4回教職員夏期研修大会が開催されました。サンロイヤルホテルを会場とし、リモートでの参加もあり、県内のカトリック幼保連盟教職員の学びの場を提供して

頂きました。連盟会長の中野裕明司教様の挨拶においては「つながりを求めて」をテーマに、「幼児期は手をつなぎ、思春期は目で繋がり、青年期には心で繋がる」という大切な教育のポイントと、幼児教育に携わる私たちは、戦争(争い)の種をまく人ではなく、平和の種をまく人を育てるといふ尊い使命を頂きました。

講演では、「カトリック園の職員としての心構え・役割・姿」「保護者とのかわり」をテーマに、長崎南山中学・高等学校校長である西経一神父様(神言会)がユーモラスな中にも愛情あふれるお話をしてくださいました。保育の中で、目の前の子どもを見るの

ではなく、その背景を見ることで、更に子どもを理解することができ、どのようなかわりや援助が必要かが見えてくるということや理由なしに「先生はあなたが大好きだよ。あなたのままでいいのよ」と言ってしまうことで「子どもたちは安らぎを得て自信を持ち、次の一歩を踏み出すことができる」ということなど、子どもたち一人ひとりのありのままの姿を受け入れることの大切さを実感致しました。

最後の締めは、「神様がご自分の身を割いて人間を救ってくださったこと。私たちは、神さまに贖われた唯一無二の存在としてこの世に生かされていることに感謝し、目の前にいるかけがえない子どもたちに、自分の身を、心を割いて尽くし、カトリックの精神と神様の無償の愛を伝えていきましょう」というお話で講演が終わりました。西神父様の体験を通して

7月21日(日) 谷山教会(主任司祭・盛克志神父)で14時から、和やかな雰囲気の中、聖アルフオンソ合唱団のコンサートが開催されました。毎回、美しい歌声を披露してくる同合唱団ですが、今回は少し趣向を変えて、高田三郎さんの音楽を中心に歌ってくれました。第1部は、私たちがミサの中で、いつも歌っている

語られる一つひとつのお話に心が沁み、自分を反省すると共に新たな気持ちでこれからはかわるすべての子どもたちに、カトリック(いつでも、どこでも、誰にでも)の広い心で接していきましょうという思いに満たされた研修会でした。

## 聖アルフオンソ合唱団のコンサートを聴いて

コンサートを聴いて



「難しい歌だろう」と思いましたが、練習日も少ない中、とても綺麗なハーモニーでした。コンサート後は、余韻にひたりながら、教会ホールでコーヒールとお茶で懇談できました。そして「良かった」「素晴らしいから聞かせてきました。癒しのコンサートをありがとう!」中野司教様をはじめ各教会からも多くの方が谷山教会へお越しくださいました。ありがとうございました。(谷山教会・上原敏子)

## ダウン神父様来鹿

2007年5月31日、タム神父とともにマニラで司祭に叙階され、鹿児島教区に派遣されたファン・ティエン・ドゥン神父(現ニヤチャン教区司祭)が11年ぶりに鹿児島教区を訪問した。ドゥン神父はラバン祭に出席したほか、かつて司牧した小宿教会や加世田教会でミサをささげ、信者と交流してくれました。



## ようこそ鹿児島教区へ

ポルティユの御摂理修道女会に新メンバー

7月22日(月)、新しくベトナムから阿久根修道院に派遣されたポルティユの御摂理修道女会の2人の姉妹(写真左からグエン・ティ・ミン・トア修道女、グエン・ティ・キム・ヴァン修道女)がファン・ティ・ホワン・ワン修道女(写真右端)とともに中野司教を表敬訪問した。これで同修道院のメンバーは6人になった。



跡と言います。イエス様の他に神様の御許に行かれた人はいません。イエス様のみがその道をご存じです。そこで私たちが迷わず神様のところへ行けるために秘跡があるのです。



親子のつとめ

イエス様は恵みを与えるために「しるし」を遣わしてくださいませ。これを秘

この秘跡は「洗礼」、「堅信」、「聖体」、「ゆるしの秘跡」、「病者塗油」、「叙階」、「婚姻」の七つがあります。どの秘跡を受けるにあたってはそれぞれに相応しい心の準備が必要になります。

イエス様の使命を担う真の信者となることから、どうしても教会の教えをしつかり学ばなければならぬのです。



## 秘跡について

この秘跡の中で洗礼、堅信、叙階の三つの秘跡は一生に一度しか受けられません。

また洗礼、堅信、聖体の三つを合わせて「入信の秘跡」と呼びます。

この三つの秘跡をすべてを受けてこ

またそれぞれの置かれた状況に応じて与えられるものなのです。重要なことは秘跡とはすべて共同体的なものであり個人的なものも存在しません。

共同体として秘跡的祭儀の中でそれらをお祝いします。秘跡を受けた喜びはその人個人だけではなく共同体の喜びなのです。この共同体性こそカトリックの教えの基本なのです。